

# しながわ未来NEWS

 2025  
No.5

●発行/しながわ未来●発行日/2025年3月20日●発行責任者/大倉たかひろ●〒140-8715品川区広町2-1-36 TEL03-5742-7810 FAX03-5728-9736

2023年5月より品川区議会内において合同会派となる、「しながわ未来」(無所属・立憲・ネット)を結成しました。所属議員は(幹事長)大倉たかひろ、(副幹事長)松永よしひろ、(政調会長)山本やすゆき、木村健悟、ひがしゆき、吉田ゆみこの6名です。

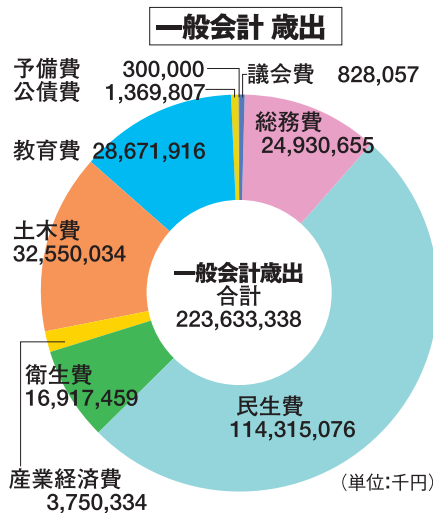
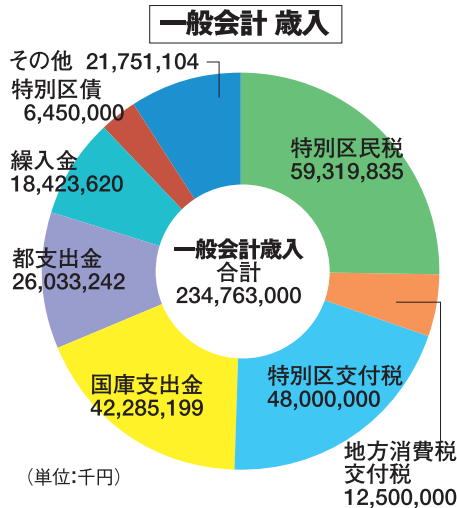


## 2025年度 品川区予算の 概要と課題

2025年区議会第1回定例会は2月19日から3月26日まで37日間の会期で開催されました。本議会では区長による施政方針説明、新年度予算を審議する予算特別委員会も併せて行われました。品川区政について具体的な予算に基づいて質疑に臨みました。

### 「予算の概要」

2025年一般会計予算は、前年度比プラス15.3%の約2,348億円です。特別区税は10%増で、約59.3億円を見込んでいます。今年の予算では、特別区債(いわゆる区民の借金)が、前年度比36.0%増で65.5億円となります。内訳は新庁舎整備に41億円(新規)、学校施設整備に23億円が起



債されます。学校施設整備は学校の改築が進んできたために、減少傾向です。区債の合計額は、222億円程(※)となり、区民一人当たりの負債額は5万円余と見込まれます。(※222億円は'23年度決算額14.3億円+'24年起債14億円+'25年起債65億円) 加えて4特別会計(国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計)



この委員会は審議が長時間のため、小さな子に在る議員や職員は保育園やすまいるスクールの延長をしてきた。時間の前倒しの提案が実現して9時半からの開始となった。

計)の総額が約750億円の規模となるため、区の全体の財政規模は約3,098億円となりました。(前年度比10.3%増)

### 子育て支援策への区民合意は十分か

当初予算では、中学校制服無償化、中学校修学旅行費無償化、オーガニック給食導入、所得制限のない給付型奨学金、朝の児童の居場所・朝食支援など様々な項目で、23区初や都内初といわれる品川区独自の政策予算が提案されています。

子どもを育てる保護者にとって、制服購入や修学旅行の積み立てなど経済的に大きな負担があることは事実です。昨年、給食費と学用品の無償化が実現しました。負担軽減策が実施され、経済的な格差による教育機会の不均衡を許さないという区の政策に異論はありません。

一方で物価高騰などの影響により、経済的負担が増加しているのは区内でも子育て世帯だけでなく高齢世帯や非正規雇用で働く若者も同様です。区長の進める子育て支援策は評価しますが、税の公平な再配分(予算)について区民が優先順位を議論する場合は品川区にはありません。議会がその議論の場であることはいまでもありませんが、もっと柔軟に区民の声を聴く区制運営を品川区に求めます。